

7月19日(火) 14:00~ Aグループ予選 1試合目 CP赤 GKゴールド

日本 25 (9-13, 16-12) 25 アンゴラ

(戦評)

女子ユース世界選手権大会、日本の初戦はアンゴラ。LW 吉岡、LB 林、CB 浜、RB 金城、RW 中山、PV 行本、GK 榎でディフェンスからスタート。立ち上がり、選手たちには固さが見られた。開始早々に先制点を許した後、7mT を2本外している間に得点を重ねられ、8分過ぎに0-4とされてしまう。その後、No.8 並木のサイドシュートが決まり1点返すものの、悪い流れを断ち切れず、15分までに1-9とリードを許してしまう。15分過ぎからはお互いにミスがありもたついたが、その中でNo.5 吉岡、No.2 澤田、No.15 金城らの得点を重ねていた日本が僅かながら盛り返し、前半を9-13の4点差で折り返す。

後半に入り、日本に流れが傾き始める。No.5 吉岡のサイドシュート、No.14 中山の連続得点で後半開始5分を待たずに12-14と2点差に追い詰め、アンゴラにタイムアウトを取らせる。タイムアウト明けにはNo.6 行本の退場もあり12-16と再び4点差にされてしまうが、そこからは相手の退場を誘いつつ果敢にゴールを狙う姿勢が功を奏し、10分過ぎにはついに16-16の同点に追いつく。その後、日本はリードこそ奪えないものの、粘り強い攻防によって一進一退の状況が続く。そして27分、No.5 吉岡のシュートによって25-24とし、待望の勝ち越し点を得る。ここでアンゴラがタイムアウト。是が非でも守り抜きたい日本だったが、ダブルポストをうまく使った相手の攻撃を防げず、すぐに追いつかれてしまう。再度の勝ち越し点が欲しい日本だったが、あと一步のところまでシュートが入らず、逆に相手の速攻によってノーマークの得点チャンスを与えてしまう。しかし、No.1 榎がこれを積極的なキープングによってシャットアウトし、そこでタイムアップの笛を迎える。初戦を25-25の同点で終えた日本は、この引き分けを次につなげていけるかどうかが大切になってくるだろう。

この試合の優秀選手に No.6 行本が選ばれた。

個人得点：8点 中山、5点 吉岡、3点 並木・金城、2点 中村風、1点 澤田・林・浜・行本